

# 公益社団法人大崎町シルバー人材センター

## 令和7年度 事業報告

我が国においては、少子高齢化に伴う労働力人口の減少、社会保障費の増大、そしてデジタル技術の急速な進展など多岐にわたる課題に直面している中で、高齢者が就業を通じて地域社会に貢献するとともに生きがいや居場所づくりの実現の場として重要な役割を担っているシルバー人材センターでは、インボイス制度の導入やフリーランス新法の施行に伴う契約方法の見直し、さらには改正公益法人制度改革などの施行により、会員の働き方が影響を受けるなど、センター事業を取り巻く環境は変化してきております。

このような状況下において、健康で働く意欲のある会員のために、長年培ってきた知識や経験、また希望に沿った就業機会を確保し、生きがいや社会参加がこれまで以上に推進されることを目指してまいりましたが、当センターが令和7年度も健全運営を維持することができたのは、町行政当局をはじめ国・県及び連合会等関係機関のご指導・ご支援の下、「自主・自立」、「共働・共助」の基本理念に基づき、会員の皆様が活力ある地域社会づくりに貢献され、活躍いただいている賜物であり、深く感謝申し上げます。

当センターの令和7年度実績は、事業運営面では会員数 249 名、就業率 85.9%となりました。このうち受託事業が契約件数 1,439 件、就業延日人員 10,138 日人、契約金額 73,269 千円、労働者派遣事業が契約件数 173 件、就業延日人員 6,537 日人、契約金額 60,118 千円でした。

事業内容については、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業等の推進に取組み、人手不足分野職種における労働力の補完等を目指し、地域に密着した事業開拓に努める一方、独自事業にも取り組んでおり会員の皆様による積極的な活動が地域社会に喜ばれ成果を上げております。

また、会員の皆様が長年培ってこられた知識や経験を十分に発揮し、活躍し続けることができる「生涯現役社会」の基盤を支えることを目指し事業活動が図られておりますが、高齢社会が更に進展する中であって、シルバー事業発展のため会員増強拡大及び就業機会開拓強化に取り組まなければなりません。

安全就業面では、就業中のケガや就業地までの途上・帰途等における交通事故防止について、総会時の交通安全教室や安全パトロール巡回点検指導を実施し注意喚起するとともに、安全保護具等着用徹底の推進による事故撲滅を目指してきましたが、残念ながら就業中の傷害事故が 2 件、物損事故が 2 件発生しました。

今後も、「安全はすべてに優先する」をモットーに、会員の皆様が安全第一を念頭に活動していただける環境づくりに努めてまいります。